

# 日本ビジネス航空協会 会報

2022年7月号



**JBAA** JAPAN BUSINESS AVIATION ASSOCIATION  
一般社団法人 日本ビジネス航空協会

## **CONTENTS**

- ◇ **空港紹介** **1 ページ**
  - ビジネスジェットの利用促進を目指す空港**
  - ～ 小型航空機の拠点空港を目指して 県営名古屋空港～**
  
- ◇ **JBAA HP ACCESS 実績** **7 ページ**

## ◇空港紹介

### 県営名古屋空港のご紹介

#### ～小型航空機の拠点空港を目指して～

愛知県都市・交通局航空空港課

日頃より、日本ビジネス航空協会の会員の皆様におかれましては、県営名古屋空港でのビジネスジェットの利用促進にご理解とご協力を賜りありがとうございます。

今回は貴重な紙面をお借りし、県営名古屋空港についてご紹介いたしますので、ぜひご覧ください。

#### 1 県営名古屋空港の概要

名称（航空法上）	名古屋飛行場
設置・管理者	愛知県
指定管理者	名古屋空港ビルディング株式会社
飛行場の位置	愛知県西春日井郡豊山町
標点の位置・標高	北緯 35° 15' 18" 東経 136° 55' 28" 標高 14m
飛行場の種類	陸上飛行場
飛行場の面積	約 172 ha
滑走路の長さ・幅	L = 2,740m W = 45m
滑走路の強度	単車輪荷重 43t
滑走路の方位	真方位 N27° 34' 41" W
エプロン	面積 約 24 ha ・コンピューター・ビジネス機用 28（27※）スポット ・小型機用 65（63※）スポット （固定翼 19スポット、回転翼 46（44※）スポット） ※同時に駐機可能な最大スポット数
航空灯火	精密進入用
航空保安無線施設	ILS（CAT-I）、VOR/TACAN
供用開始	平成 17（2005）年 2月 17日
運用時間	午前 7時から午後 10時まで
管制業務	防衛省による飛行場管制業務・着陸誘導管制業務

## 2 特長

### (1) ビジネス機の拠点として

日本初の本格的なビジネス機の拠点空港として、ビジネス機旅客のみが利用できる高いプライバシーとセキュリティを確保したビジネス機専用ターミナルを整備しています。駐機場からターミナルまでは最短で70m、ターミナル内では、税関、入管、検疫(CIQ)が流れるように1つの部屋で行われ、ビジネス機旅客は、短い動線でターミナル隣接の専用駐車場まで移動し、最終目的地に向けて出発することができます。

- ◆ 十分な発着枠、駐機場スペース、2,740mの滑走路を用意し、駐機時間にも制限がないため、国際会議やイベントの開催期間中を通した駐機が可能
- ◆ 出入国(CIQ)審査は、ビジネス機ターミナル内の1室ですべて済ませることができます。なお県営名古屋空港は国際定期便が就航する空港ではないため、CIQ機関は常駐していませんが、国際ビジネス機の発着時にあわせ、CIQ機関が出張することにより対応がされています。※県営名古屋空港では航空法やCIQ関係法令上の外国籍の発着などに求められる様々な許可申請を「3日前」までに行うことで対応が可能
- ◆ こうしたCIQの協力により、ビジネス機の拠点空港として円滑な手続きが行われています。



【注目！日本最大級のビジネス機格納庫（朝日航洋株式会社様所有）】

ビジネス機専用駐機場に面して建設されたビジネス機ハンドリング事業者の格納庫です。国際ビジネス機にも対応できる日本最大級の規模となっています。

〈施設概要〉

- ・建物面積 8,600平方メートル

- ・間口 100m
- ・機材 ガルフストリーム、サイテーション等



協力：朝日航洋株式会社

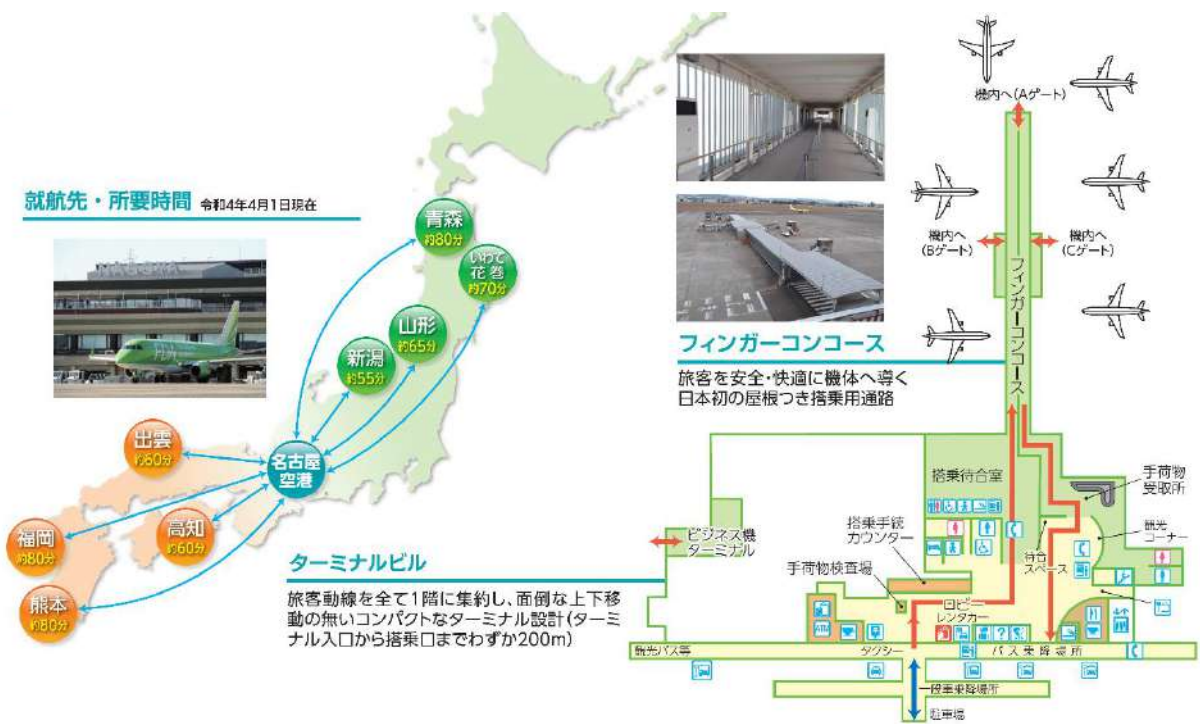


協力：朝日航洋株式会社

(2) コミューター航空の拠点として

余裕のある発着枠を活かし、利用者のニーズに合わせた航空ダイヤで、名古屋大都市圏と国内の都市とが結ばれています。

- ◆ 出発・到着に必要な施設をすべてターミナル1階にコンパクトに設置することにより、ターミナル入口から搭乗ゲートまで最短で200mという短い旅客動線を実現
- ◆ ターミナルと旅客機との間に設置された日本初の屋根付き搭乗通路「フィンガーコンコース」により安全かつ快適な乗降が可能





### 3 県営名古屋空港の歴史

県営化以前の名古屋空港は、昭和27（1952）年3月に定期航空路線の乗入れが開始されて以来、中部圏の空の玄関口としての役割を担ってきましたが、増大する航空需要や空港利用時間の制約を踏まえて中部国際空港を国際・国内航空輸送の拠点とする計画方針が示されました。

一方、航空自衛隊小牧基地が隣接し、自衛隊機が使用しているという名古屋空港特有の事情を考慮し、学識経験者、地元経済界や地元自治体で今後の名古屋空港の構想や計画が取りまとめられ、「通勤航空、ビジネス機など小型航空機を中心とする様々な航空活動に対応する新しい都市型の総合空港」を基本コンセプトとすることとなりました。

その後、平成16（2003）年2月に航空法施行規則（省令）が改正され、国際ビジネス機に運航に求められる様々な許可申請期限を短縮する規制緩和が実現し、運用面においては、地元CIQの協力も得られ、同年7月には、名古屋飛行場条例の公布など小型航空機の拠点空港としての環境が着々と整えられました。

平成16（2003）年9月1日には、愛知県が国土交通省から飛行場設置許可を受け、さらに翌平成17（2004）年2月には、飛行場という国有財産であった空港用地及び施設を取得しました。そして同年2月17日、中部国際空港の開港と同時に、第二種空港としての名古屋空港は廃止され、通勤航空やビジネス機など小型航空機の拠点となる都市型総合空港として、愛知県が設置管理する名古屋飛行場、通称「県営名古屋空港」が開港しました。



（平成30年10月撮影）航空写真：名古屋空港ビルディング株式会社提供

#### 4 あいち航空ミュージアム

あいち航空ミュージアムは、我が国で唯一空港内に立地する、航空機をテーマとしたミュージアムであり、航空機産業の「情報発信」、「産業観光」、「人材育成」の3つのコンセプトで、平成29（2017）年11月にオープンしました。

新しい展示物の導入などコンテンツの充実に取り組んでおり、本年11月の開館5周年にあわせてT-4ブルーインパルス展示を予定しています。自衛隊広報施設以外の博物館としてT-4ブルーインパルス展示を行うのは、あいち航空ミュージアムが全国初となります。



#### 5 愛知県のみどころ！

古くからモノづくりの拠点として栄えてきた愛知県は、陶磁器や織物等の伝統産業から、自動車、航空宇宙などの先端産業に至るまで、幅広い多様な産業が集積しています。また、織田信長・豊臣秀吉・徳川家康の生誕地であり、歴史・文化の中心地としても栄えてきました。

愛知県には歴史や産業、自然、食、文化など「ツウ」な人にはたまらない魅力がたくさんあります。そのほんの一部をご紹介します。

##### 【尾張】

県営名古屋空港がある尾張地方には、小牧山城や犬山城、愛・地球博記念公園（モリコロパーク）、「国府宮（こうのみや）はだか祭り」、中部国際空港（セントレア）など見どころがたくさんあります。特にモリコロパークには、日本が世界に誇るスタジオジブリの世界観を表現した公園施設として、本年11月にジブリパークが開園します。



### 【三河】

徳川家康の故郷・岡崎の城下には八丁味噌の蔵が立ち並び古い街並みが広がっています。来年の大河ドラマは徳川家康が主人公です。

また渥美半島ではメロン狩りやヤシの木々が連なる海岸沿いのドライブ、奥三河に行けば紅葉はもちろん、春の芝桜、初夏の新緑、雪化粧の山岳風景など、四季折々の美しい景観を楽しむことができます。



恋路ヶ浜(田原市)



# JBAA HP Access 実績

As of 2022.06.30

